

令和4年度第1回飯山市学校給食運営委員会会議 会議録

令和5年3月9日 18:30~20:00
飯山市保健センター2階

1、開会

2、教育長あいさつ

お忙しい中お集まりいただきありがたい。もうすぐ3月の市報が手元に届く頃かと思うが、市報の表紙は学校の給食の様子の写真となっている。給食費の4割を市で負担するというので、今議会で検討してもらっている中だが、そのような話題がありこの表紙になっているのかと思う。飯山の給食は地産地消がベースとなっておりとても美味しいという評判がある。これからも給食の先生方にそれぞれの学校で子どもたちに美味しい給食を提供していただければありがたいと思う。給食費無償化に向けての課題など色々あるが、今日はそれぞれの学校で取り組んでいる給食の様子、あるいは困っていることなどを出していただき、情報共有してまたよりよい給食づくりへ向かっていければと思う。

3、役員相互選について

(事務局)

互選に入る前に、自己紹介をお願いしたい。

【各自自己紹介】

(事務局)

飯山市学校給食運営委員会設置要綱により、会長1名と副会長2名を互選していただきたい。互選の方法について提案等あるか。

(委員)

普段はどのような方法で行っていたのか。

(事務局)

事務局で考えていた案としては、過去同様に、会長をPTAの代表の方をお願いしたい。PTA連合会長ということで、〇〇委員になるか。副会長は栄養教職員の方が1名、調理員の代表の方が1名ということで、△△委員、□□委員にそれぞれお願いできればと考えている。いかがか。

【反対意見なし】

(事務局)

それでは、会長には〇〇委員、副会長には△△委員、□□委員ということでお願いしたい。

要綱により、会議事項については会長が議長となるため、会議事項の進行については〇〇会長に務めていただくことになる。

(会長)

よろしく申し上げます。

4、会議事項

(1) 給食実施状況について

- ・給食実施計画及び献立について

(会長)

各校からそれぞれの内容について説明した後、質問・意見等をいただければと思う。

【各小学校・給食センター栄養教職員から資料について説明】

(委員)

例えば木島小学校の内容について、「6年生が作った伝統野菜や坂井芋を使用」とある。すごく良いことだと思うが、こういう作ったり収穫したりというのはふるさと学習や授業の一環として行っているのか。

(委員)

そのとおり。授業の一環である、「総合」の学習として行っている。

(会長)

自分の娘も給食が好きで、美味しいメニューの日をチェックして学校に行っている。美味しい給食を提供していただき感謝している。

- ・その他

(会長)

似た意見が多く出ているため、一度代表として、給食センターの栄養教職員から内容について説明をいただきたい。

(委員)

飯山には農業地域がたくさんあり、鍋倉高原などでも大規模な農業生産が行われていると思うが、どこに頼ってそれらを活用していけばいいのか、入手方法に困っ

ている。農協にある時期は農協の野菜を使っているが、農協だけではなく地元の青果物などをもっと使用したい。間になにか学校給食のために食材を納品していただく立場の方を入れるなどして、学校給食に飯山の食材を使用できる体制づくりをしていただけたらありがたい。前任の中野市では農政課と農協の方で担当を立て、年間を通して野菜を納入していただけるシステムを作ってもらっていた。そのことにより長期間にわたり食材の納入を受けられていた。飯山の農産物もそのように使用できたら嬉しいと考えている。

(委員)

同じく、町中にある学校のためなかなか農家のグループというものがない。年に2回、地元農産物をどれだけ使っているかという調査を県に提出しているが、どうしても●●小学校は割合が低いということで指摘をいただけてしまう状況。●●小学校は地元のマイスターさんから木島のものを納入していただいたり、地元農園のりんごを使用したり、農協にお願いしたりなどしているが、なかなか他の学校のように(使用率が)上がっていかないのが現状。飯山市にはせっかく農産物がたくさんあるので、何かルートを作っていただければと思う。これからは高齢化でこの学校も苦しい状況になるかと思う。

(事務局)

貴重なご意見ありがたい。今回提出いただいた資料において、今の話の他にも「長い付き合いをしていた生産者の方が高齢に伴い食材提供が難しくなっている」というような事案が上がっている。これから地域の状況に変化が生じてきて、飯山小や給食センターのような状況の学校も出てくるかと思う。会議の前に市の経済部へ相談したところ、経済部としても地域の食材を児童生徒に食べてほしいという気持ちを持っているとのことだった。マッチングが上手にできていない状態なのかと思う。その点はこちらの力不足だった部分。ぜひ、これから中野市同様、農政関係の職員と相談する場面を設けたいと考えている。そのような折にはぜひ相談に乗っていただきたい。農政関係の職員と話をし、飯山市では道の駅にそれぞれ生産者が出荷しているため、そことマッチングできないかなど、色々考えている。一度に全てというのは難しいかもしれないが、次年度以降少しでもそのような取り組みができるよう、検討の場面を設けたい。

(2) 令和4年度及び令和5年度の給食費保護者負担軽減事業について

【事務局から資料について説明】

(委員)

給食費の4割軽減を考えているとのことだが、なぜ4割という数字なのか聞きたい。給食費無償化というような話もちらほら聞いているので、保護者としてはそう

なってくれればありがたいと思う。

(事務局)

本来であれば全額公費にすべき、という声もお聞きしているところではある。給食については、法律で「設備等については設置者が負担、賄材料費は保護者が負担する」と昔に定められ、今までそれでやってきていたところだが、現在の状況として、子育てにおける負担の軽減を進めていきたいという考えがある。本来10割の軽減を目指していたが、飯山市においては現在学校建設を含めた様々な事業を進めている中で、全体の財政のバランスを見た中で、令和5年度については4割軽減という形でスタートさせていただきたいということで議会に予算をお願いしている。本当はより多くの支援を行いたいところだが、財政を見て4割という数字にさせていただいた。また、国でも給食費軽減についての話も少し出ているが、少しでも早くそういった支援を行いたいという思いから、令和5年度から4割という形でスタートさせていただきたいという提案をさせていただいた。

(委員)

今言っていたことは理解したが、子どもというのは地域の宝だと思うので、もう少し、年々でよいが、ゼロに向けて取り組んでいってもらいたい。削れるところは他にあるはずなので、ぜひこういうことからやってもらえれば子どもの数も増えていくかと思う。子ども第一の考えでやっていただけたら素晴らしい市政になると思うので、今後とも検討していただきたい。

(事務局)

子育て支援については給食費のほか、保育の関係もあるなど色々な支援策がある中で、総合的に考えていきたいと思っている。今回給食については4割とさせていただいたが、また検討しながらよりよい形にしていきたいと考えている。皆様のご意見等も色々いただければ幸い。

(委員)

4割も軽減していただきありがたい。

5、その他

6、閉会